

④ 生徒の行動実績（資質・能力の発揮）



	全校			1年生 (2022入学生)			2年生 (2021入学生)			3年生 (2020入学生)		
	全体	昨年度との差	他地域との差	学年	昨年入学生との差	一昨年入学生との差	学年	1年次との差	回答上昇者	学年	2年次との差	1年次との差
	割合(%)	差(pt)	差(pt)	割合(%)	差(pt)	差(pt)	割合(%)	差(pt)	割合(%)	割合(%)	差(pt)	差(pt)
主体性に関わる行動	79.3%	0.50	11.59	76.0%	-2.03	6.40	78.2%	0.11	27.5%	83.7%	4.97	14.03
71 授業で分からないことを、自分から質問したり、分かる人に聞いた	82.9%	2.32	4.36	85.4%	4.71	10.42	81.8%	1.12	29.4%	81.6%	2.00	6.63
74 授業に興味・関心を持った内容について、自主的に調べ物を行った	75.7%	-1.32	18.82	66.7%	-8.77	2.38	74.5%	-0.89	25.5%	85.7%	7.94	21.43
協働性に関わる行動	78.0%	-1.90	8.45	75.0%	-11.84	6.25	79.1%	-7.75	23.5%	79.6%	3.67	10.84
72 自分の考えについて、様々な人に意見やアドバイスを求めた	77.0%	-4.32	8.48	70.8%	-15.13	1.19	74.5%	-11.42	21.6%	85.7%	6.08	16.07
73 友人などから、意見やアドバイスを求められた	78.9%	0.53	8.43	79.2%	-8.55	11.31	83.6%	-4.08	25.5%	73.5%	1.25	5.61
探究性に関わる行動	74.0%	4.23	9.24	72.9%	-4.28	12.20	73.6%	-3.56	21.6%	75.5%	9.77	14.80
75 授業で「なぜそうなるのか」と疑問を持って、考えたり調べたりした	74.3%	0.24	7.84	68.8%	-6.69	-2.68	76.4%	0.93	25.5%	77.6%	7.18	6.12
76 公式やきまりを習う時、その根拠を自分で考えたり調べたりした	73.7%	8.22	10.65	77.1%	-1.86	27.08	70.9%	-8.04	17.6%	73.5%	12.36	23.47
社会性に関わる行動	76.3%	5.57	34.59	79.9%	9.10	13.79	77.0%	6.21	32.7%	72.1%	0.50	6.04
69 いま住んでいる地域の行事に参加した	74.3%	12.47	40.74	77.1%	20.94	12.80	76.4%	20.22	41.2%	69.4%	2.72	5.10
70 地域社会などでボランティア活動に参加した	67.1%	2.36	37.10	68.8%	2.08	16.96	74.5%	7.88	33.3%	57.1%	-7.67	5.36
77 先生、保護者以外の地域の人と、なげない会話を交わした	87.5%	1.89	25.93	93.8%	4.28	11.61	80.0%	-9.47	23.5%	89.8%	6.46	7.65

⑤ 学習・その他

	全校			1年生 (2022入学生)			2年生 (2021入学生)			3年生 (2020入学生)		
	全体	昨年度との差	他地域との差	学年	昨年入学生との差	一昨年入学生との差	学年	1年次との差	回答上昇者	学年	2年次との差	1年次との差
91 平均的な学習時間【平日】	81.12	-	-10.82	86.46	-	-	77.45	-	-	80.00	-	-
92 平均的な学習時間【休日】	116.58	-	-42.70	128.33	-	-	100.73	-	-	122.86	-	-

	全校			1年生 (2022入学生)			2年生 (2021入学生)			3年生 (2020入学生)		
	割合(%)	差(pt)	差(pt)	割合(%)	差(pt)	差(pt)	割合(%)	差(pt)	割合(%)	割合(%)	差(pt)	差(pt)
90 この学校を中学生におすすめる	86.8%	-	5.76	89.6%	-	-	83.6%	-	-	87.8%	-	-
78 国際社会の課題解決に貢献したい	67.1%	0.92	12.04	79.2%	0.22	16.67	58.2%	-20.77	5.9%	65.3%	7.90	-
79 未来世の中にある新しい技術やサービスを生み出してみたい	53.3%	0.77	2.27	56.3%	-10.42	4.46	52.7%	-13.94	21.6%	51.0%	6.58	-
80 客観的な証拠に基づき考え、判断する科学的視点から課題解決にあたることができる	51.3%	-0.48	7.15	52.1%	-5.81	14.58	52.7%	-5.17	25.5%	49.0%	-1.02	-

⑥ 大人向け調査

	大人向け調査 (全回答平均)			大人向け調査 (教職員のみ)		
	全体	昨年度との差	他地域との差	全体	昨年度との差	他地域との差
25 この学校を中学生におすすめる	82.5%	-	-3.36	77.8%	-	-5.80
26 この学校に関わってよかったと思う	97.5%	-	7.27	100.0%	-	11.01
27 この地域を、将来暮らす場所としておすすめる	70.0%	-	-9.21	55.6%	-	-21.64
28 【教職員のみ】地域・社会との協働を通して、授業の質の向上につながっている	77.8%	-	17.87	77.8%	-	17.87
29 【教職員のみ】地域・社会との協働を通して、自身の資質・能力の向上につながっている	77.8%	-	8.60	77.8%	-	8.60
30 【教職員のみ】地域・社会との協働を通して、学習意欲が高まった生徒がいる	70.4%	-	2.83	70.4%	-	2.83
31 【教職員のみ】地域・社会との協働を通して、業務負担感の軽減につながっている	22.2%	-	3.00	22.2%	-	3.00

⑦ 生徒のウェルビーイング



	全校		1年生 (2021入学生)			2年生 (2020入学生)			3年生 (2019入学生)		
	割合 (%)	昨年との差	学年	昨年入学生との差	一昨年入学生との差	学年	1年次との差	回答上昇者	学年	2年次との差	1年次との差
主体性に関するウェルビーイング	59.9%	-0.46	60.4%	-8.44	11.61	63.0%	-6.28	39.2%	55.8%	5.48	2.04
81 今の生活全般に対する満足度 (0~10で評価: 6以上の割合)	66.4%	-0.46	68.8%	-8.44	11.61	70.9%	-6.28	39.2%	59.2%	5.48	2.04
82 普段のあなたの幸福度 (0~10で評価: 6以上の割合)	67.8%	-	64.6%	-	-	72.7%	-	-	65.3%	-	-
83 現在の日常生活に不安や心配事がない	45.4%	-	47.9%	-	-	45.5%	-	-	42.9%	-	-
協働性に関するウェルビーイング	82.7%	1.11	84.0%	-3.40	0.30	81.2%	-7.53	25.5%	83.0%	8.31	0.51
66 この学校に入ってよかったと思う	88.2%	1.11	89.6%	-3.40	0.30	85.5%	-7.53	25.5%	89.8%	8.31	0.51
84 学校の一人だと感じている	83.6%	-	83.3%	-	-	85.5%	-	-	81.6%	-	-
85 大切な人を幸せにしたり、楽しませたりしていると思う	76.3%	-	79.2%	-	-	72.7%	-	-	77.6%	-	-
探究性に関するウェルビーイング	71.5%	-8.56	68.1%	-10.20	-2.68	67.3%	-11.67	25.5%	79.6%	-0.98	-2.04
68 【再掲】 自分の将来について明るい希望を持っている	68.4%	-8.56	68.8%	-10.20	-2.68	67.3%	-11.67	25.5%	69.4%	-0.98	-2.04
86 自分の将来についての見通し (将来ごういう風でありたい) を持っている	71.7%	-	64.6%	-	-	65.5%	-	-	85.7%	-	-
87 自分の将来に向けて大切だと思うことを実行している	74.3%	-	70.8%	-	-	69.1%	-	-	83.7%	-	-
社会性に関するウェルビーイング	65.6%	-3.55	68.2%	-11.46	4.02	62.7%	-15.15	18.6%	66.3%	2.44	-1.53
58 【再掲】 将来、自分の住んでいる地域に役に立ちたい	71.1%	-5.21	72.9%	-13.05	3.27	72.7%	-13.24	19.6%	67.3%	0.68	-2.30
60 【再掲】 地域文化や暮らしを、自らの手で未来に伝えたい	66.4%	-1.90	70.8%	-9.87	4.76	63.6%	-17.07	17.6%	65.3%	4.20	-0.77
88 この地域を、将来暮らす場所としておすすめできる	75.0%	-	75.0%	-	-	70.9%	-	-	79.6%	-	-
89 日本の将来は明るいと思う	50.0%	-	54.2%	-	-	43.6%	-	-	53.1%	-	-

令和4年度 高校魅力化評価システム 「③生徒の自己認識」「④生徒の行動実績」結果比較

③ 生徒の自己認識(資質・能力の主観的認識)		1年生	2年生	3年生	
主体性に関わる自己認識					
【自己肯定感・自己有用感】					
51	自分にはよいところがあると思う	1回目	79.2%	80.0%	71.4%
		2回目	58.8%	78.9%	75.6%
52	私は、自分自身に満足している	1回目	29.2%	69.1%	49.0%
		2回目	27.5%	56.1%	55.6%
【課題設定力】					
39	現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる	1回目	70.8%	87.3%	77.6%
		2回目	60.8%	71.9%	75.6%
【行動力】					
40	目標を設定し、確実に行動することができる	1回目	56.3%	70.9%	63.3%
		2回目	43.1%	71.9%	66.7%
53	自分で計画を立てて活動することができる	1回目	62.5%	67.3%	63.3%
		2回目	45.1%	64.9%	48.9%
【粘り強さ】					
37	うまくいかなかったことにも意欲的に取り組む	1回目	75.0%	83.6%	77.6%
		2回目	64.7%	82.5%	84.4%
47	忍耐強く物事に取り組むことができる	1回目	68.8%	70.9%	69.4%
		2回目	56.9%	70.2%	82.2%
協働性に関わる自己認識					
【受容力】					
43	自分とは異なる意見や価値を尊重することができる	1回目	91.7%	90.9%	91.8%
		2回目	92.2%	87.7%	95.6%
【対話力】					
42	相手の意見を丁寧に聞くことができる	1回目	87.5%	90.9%	85.7%
		2回目	90.2%	89.5%	93.3%
【表現力】					
49	自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1回目	75.0%	81.8%	73.5%
		2回目	60.8%	71.9%	73.3%
50	友達の前で自分の意見を発表することは得意だ	1回目	54.2%	72.7%	57.1%
		2回目	51.0%	63.2%	53.3%
【共創力】					
44	共同作業だと、自分の力が発揮できる	1回目	64.6%	69.1%	57.1%
		2回目	58.8%	63.2%	66.7%
探究性に関わる自己認識					
【学びの意欲】					
38	家や寮で、誰かに言われなくても自分から勉強する	1回目	62.5%	78.2%	73.5%
		2回目	56.9%	64.9%	64.4%
61	地域を対象とした課題探究学習に熱心に取り組んでいる	1回目	83.3%	65.5%	69.4%
		2回目	66.7%	64.9%	84.4%
67	学校で学習することで、自分ができることやしたいことが増えている	1回目	81.3%	74.5%	79.6%
		2回目	76.5%	84.2%	84.4%
【情報活用能力】					
45	情報を、勉強したことと関連づけて理解できる	1回目	87.5%	83.6%	73.5%
		2回目	66.7%	80.7%	84.4%
46	勉強したものを実際に応用してみる	1回目	60.4%	70.9%	73.5%
		2回目	47.1%	71.9%	73.3%
【批判的思考力】					
41	複雑な問題を順序立てて考えることが得意だ	1回目	43.8%	60.0%	49.0%
		2回目	35.3%	50.9%	48.9%
54	一つ二つの立場だけでなく、できるだけ多くの立場から考えようとする	1回目	79.2%	83.6%	91.8%
		2回目	68.6%	75.4%	84.4%
【省察力】					
48	自分を客観的に理解することができる	1回目	77.1%	72.7%	77.6%
		2回目	60.8%	73.7%	77.8%
社会性に関わる自己認識					
【地域貢献意識】					
65	将来の国や地域の担い手として、積極的に政策決定に関わりたい	1回目	62.5%	56.4%	63.3%
		2回目	56.9%	56.1%	64.4%
56	地域をよりよくなるため、地域の問題に関わりたい	1回目	77.1%	74.5%	59.2%
		2回目	74.5%	73.7%	71.1%
58	将来、自分の住んでいる地域に役に立ちたい	1回目	72.9%	72.7%	67.3%
		2回目	70.6%	77.2%	77.8%
【社会参画意識】					
57	私が関わることで、社会状況が変えられるかもしれない	1回目	50.0%	61.8%	63.3%
		2回目	62.7%	68.4%	82.2%
62	地域や社会での問題やできごとに関心がある	1回目	79.2%	80.0%	77.6%
		2回目	80.4%	87.7%	93.3%
55	18歳選挙権を取得したら、選挙に行くとと思う	1回目	85.4%	85.5%	83.7%
		2回目	82.4%	91.2%	93.3%
【グローバル意識】					
59	地域の課題と世界での課題は関連していると思う	1回目	81.3%	72.7%	79.6%
		2回目	72.5%	80.7%	88.9%
64	将来、見知らぬ土地でチャレンジしてみたい	1回目	77.1%	78.2%	77.6%
		2回目	84.3%	77.2%	82.2%
63	将来、自分のいま住んでいる地域で働きたいと思う	1回目	37.5%	52.7%	46.9%
		2回目	21.6%	54.4%	48.9%
【持続可能意識】					
60	地域文化や暮らしを、自らの手で未来に伝えたい	1回目	70.8%	63.6%	65.3%
		2回目	74.5%	73.7%	71.1%
68	自分の将来について明るい希望を持っている	1回目	68.8%	67.3%	69.4%
		2回目	62.7%	68.4%	73.3%

④ 生徒の行動実績 (資質・能力の発揮)		1年生	2年生	3年生
主体性に関わる行動				
71 授業で分からないことを、自分から質問したり、分かる人に聞いた	1回目	85.4%	81.8%	81.6%
	2回目	76.5%	93.0%	71.1%
74 授業で興味・関心を持った内容について、自主的に調べ物を行った	1回目	66.7%	74.5%	85.7%
	2回目	56.9%	78.9%	82.2%
協働性に関わる行動				
72 自分の考えについて、様々な人に意見やアドバイスを求めた	1回目	70.8%	74.5%	85.7%
	2回目	60.8%	84.2%	77.8%
73 友人などから、意見やアドバイスを求められた	1回目	79.2%	83.6%	73.5%
	2回目	70.6%	80.7%	84.4%
探究性に関わる行動				
75 授業で「なぜそうなのか」と疑問を持って、考えたり調べたりした	1回目	68.8%	76.4%	77.6%
	2回目	60.8%	78.9%	82.2%
76 公式やきまりを習う時、その根拠を自分で考えたり調べたりした	1回目	77.1%	70.9%	73.5%
	2回目	60.8%	75.4%	66.7%
社会性に関わる行動				
69 いま住んでいる地域の行事に参加した	1回目	77.1%	76.4%	69.4%
	2回目	78.4%	84.2%	80.0%
70 地域社会などでボランティア活動に参加した	1回目	68.8%	74.5%	57.1%
	2回目	70.6%	77.2%	80.0%
77 先生、保護者以外の地域の大人と、なげない会話を交わした	1回目	93.8%	80.0%	89.8%
	2回目	74.5%	91.2%	82.2%
⑤ 生徒のウェル・ビーイング				
主体性に関わるウェル・ビーイング				
81 今の生活全般に対する満足度	1回目	68.8%	70.9%	59.2%
	2回目	45.1%	59.6%	57.8%
82 普段のあなたの幸福度	1回目	64.6%	72.7%	65.3%
	2回目	39.2%	70.2%	62.2%
83 現在の日常生活に不安や心配事がない	1回目	47.9%	45.5%	42.9%
	2回目	33.3%	70.2%	51.1%
協働性に関わるウェル・ビーイング				
66 この学校に入って良かったと思う	1回目	89.6%	85.5%	89.8%
	2回目	86.3%	96.5%	91.1%
84 学校の一員だと感じている	1回目	83.3%	85.5%	81.6%
	2回目	88.2%	93.0%	86.7%
85 大切な人を幸せにしたり、楽しませたりしていると思う	1回目	79.2%	72.7%	77.6%
	2回目	72.5%	80.7%	80.0%
探究性に関わるウェル・ビーイング				
86 自分の将来についての見通しを持っている	1回目	64.6%	65.5%	85.7%
	2回目	60.8%	84.2%	84.4%
87 自分の将来に向けて大切に思う事を実行している	1回目	70.8%	69.1%	83.7%
	2回目	62.7%	84.2%	86.7%
社会性に関わるウェル・ビーイング				
88 この地域を、将来暮らす場所としておすすめできる	1回目	75.0%	70.9%	79.6%
	2回目	64.7%	84.2%	84.4%
補足・追加設問				
78 国際社会の課題解決に貢献したい	1回目	79.2%	58.2%	65.3%
	2回目	62.7%	66.7%	68.9%
79 まだ世の中にない新しい技術やサービスを生み出してみたい	1回目	56.3%	52.7%	51.0%
	2回目	62.7%	63.2%	71.1%
80 客観的な証拠に基づき考え、判断する科学的視点から課題解決にあたることができる	1回目	52.1%	52.7%	49.0%
	2回目	52.9%	63.2%	60.0%

島根県立隠岐島前高等学校

地域との協働による高等学校教育改革推進事業
全国サミット

『離島発「グローバル人材」を育成するための
「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」の探究』

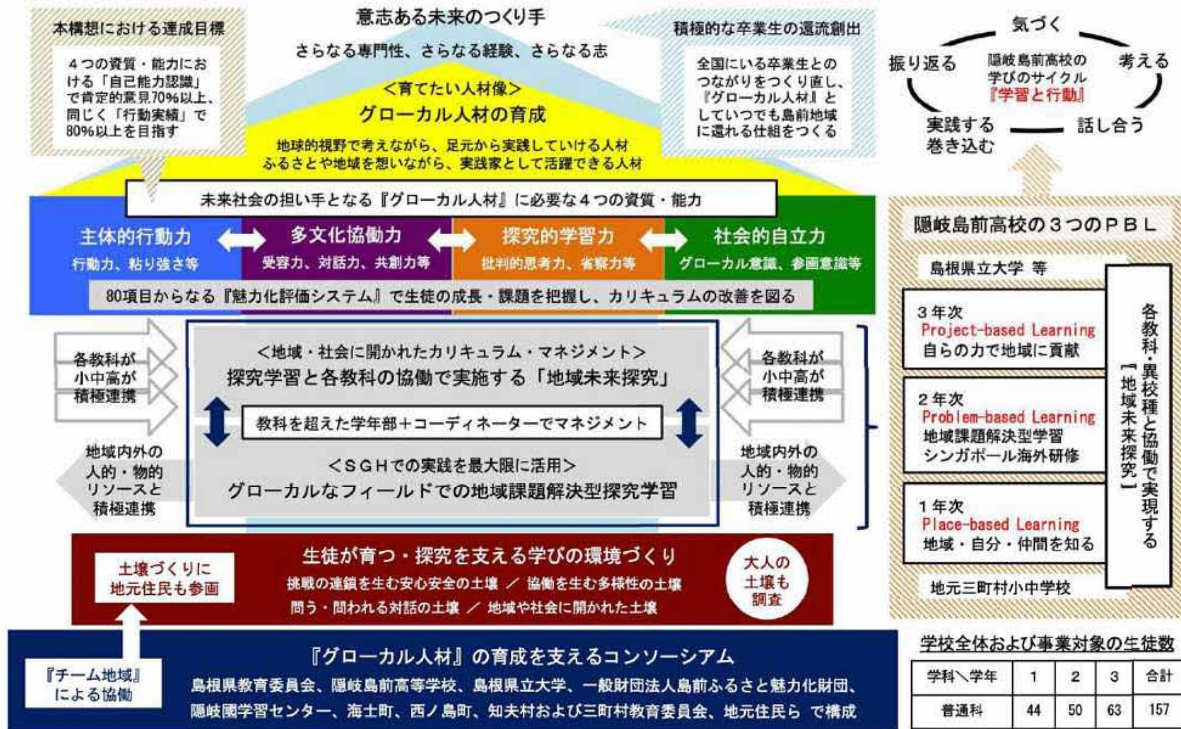
島根県立隠岐島前高等学校
令和5年1月17日

1

研究開発の概要

2

隠岐島「グローバル人材」育成のための「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」の探究



3

研究開発の概要 (令和4年度研究開発計画書より)

これまで本校が実施してきた生徒らがチームで挑む「地域課題解決型探究学習」およびシンガポール海外研修での成果発表は継続して実施する。

今回の研究開発では、そういった探究学習のプロセスと各教科をつなぎ、教育内容を相互の関係性で捉える「地域未来探究」を構築する。「地域未来探究」では、探究学習に合わせて各教科で島前地域とシンガポールとの比較研究を行うことなどを想定する。これまでも英語科のパフォーマンステストとシンガポールでの最終発表スライドを連携させるなどしてきたが、これを数学や地歴・公民等の複数教科で展開する。

そのために必要なリソースを地域内外の叡智を結集して構築する「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」に挑戦する。

4

研究開発計画1 「グローバルに課題解決を実践するプロフェッショナルによる授業の実施」

【研究計画内容】

スーパーグローバルハイスクール事業でも実施してきたグローバルに課題解決を実践するプロフェッショナルによる授業を単発から継続的に創出し、プロフェッショナルたちのリーダーシップ、思考力や判断力、課題解決の創造性や粘り強さに触れるだけでなく、人間性や将来のグローバルなビジョンに触れることで生徒自らの現在地を探究する機会とする。また、生徒が実際に取り組む地域課題解決についてもアドバイスをもらえるような仕組みを構築する。



西ノ島町 安達和良氏と考える
ニホンミツバチの復活



TURNS 堀口正裕氏と考える
地域とのつながり方・伝え方

夢探究（総合的な探究の時間）、地域地球学・リベラルアーツ（学校設定科目）、クロスカリキュラムによる教科の授業などの機会について、島内外から様々な分野のプロフェッショナルをゲストに招いた。本事業を進める3年間では、年間約50名～100名の講師に関わる機会をいただいている。

魅力化評価システムにおける「学習環境（学びの土壌）：社会性に関わる学習環境」では、年々ポイントを伸ばし、令和4年度では91.9%にいたり、他地域比較においても+22.33%となっている。

5

研究開発計画1 「グローバルに課題解決を実践するプロフェッショナルによる授業の実施」

単発（スポット）の機会から、より継続的な関わりへ



夢探究Ⅰ 地域共創実践活動
漁師からのミッションに挑む3日間



リベラルアーツ 無人ボートPJ
ボート職人のアメリカ人とSDGs

©2022年12月26日山陰中央新報

夢探究（総合的な探究の時間）では、それまでの単発（スポット）で講師依頼をする形から、地区探究（1学期後期）・ゼミ探究（2学期前期）・地域共創実践活動（2学期後期）と、それぞれのねらいを持ちながら、一定の活動期間を設け、その中で地域のプロフェッショナルに伴走していただく形を実践している。

また、リベラルアーツや地域地球学（学校設定科目）では、3ヶ月～1年間の長期期間、本校教職員やコーディネーターと共に、授業設計～伴走までを共に行なっていただいている。

6

研究開発計画2 「国内外の課題解決実践地域との交流事業の実施」

【研究計画内容】

地域課題と地球規模の課題を「結び付けて」考えるべく積極的に外へ飛び出し、「他流試合」の機会を創出する。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、大幅に計画変更をしたが、海外渡航ができなかったとしても、ブータン、シンガポール、ミクロネシアとの交流事業を実施し、「グローバル人材」を仮定して国内外での知見や事例をどのように地域に活用するのかについて探究する機会を創出する。同様に、同世代との交流を通じ将来のビジョンなどに触れることで、多文化協働の基本姿勢や探究力、未知なる世界での主体性を高める契機とする。



スーパーグローバルハイスクール事業時から、グローバル探究として様々な海外の国と交流を実施してきた。本事業でも引き続きグローバル探究（ブータン・ミクロネシア等）を実施しているが、地域国際交流部（部活動）でも、ミクロネシアやオーストラリア、ネパールやグアテマラとの交流も始まっている。また、教科の授業でも、令和3年度には、「地理×JICA 国際理解教育：パレスチナ問題」を行うなど、より日常の中に海外との他流試合の機会ができるようになっている。

7

研究開発計画2 「国内外の課題解決実践地域との交流事業の実施」



他校との他流試合では、県内の高校との交流機会だけでなく、大宮高校（埼玉）の生徒と探究プログラムを実施したり、神山高校（徳島）の生徒と交流プログラムを実施するなど、徐々に対面での他流試合も実施できるようになってきている。コロナ禍で海外渡航を断念した研修旅行も、他地域コーディネーターとプログラム設計をしたり、大学生向けに中間発表をしたりするなど、他流試合を通して、4つの力を磨く機会としている。

8

研究開発計画3 「地域課題解決型学習と各教科で取り組む「地域未来探究」の実施」

【研究計画内容】

総合的な探究の時間と全ての教科・科目をつなぎ「地域未来探究」を実施する。また、地元三町村の小中学生の探究学習を高校生がサポートする「(小中高連携型の)地域未来探究」についての実施も検討する。授業構成等の検討は「地域に開かれたカリキュラム・マネジメント」を前提に、コーディネーターや地域住民等を巻き込んだ形で実施する。

テーマ	○○×○○	概要
カラオケ店の料金設定	数学×地域	『海士町にカラオケ店を作ろう』というテーマで、その料金設定について不等式や関数を用いて考察した。
確率を英語で学ぶ	数学×英語	集団の中に同じ誕生日の人が少なくとも1ペア存在する確率について英文で学び考察した。
海士町の観光	総探×数学×地歴	『海士町はどのような新しい観光のかたちを目指せばよいか』という問いに対してデータ分析・統計(数学)と観光の歴史的资料(地歴)から考えた。
ニホンミツバチ	総探×家庭科×英語	『なぜ西ノ島でニホンミツバチは復活したのか』という問いに対して、仮説を立てて、ゲストとの対話で検証する授業を行った。
牧畑	総探×数学×国語	『なぜ知夫里島の牧畑は衰退したのか』という問いに対して、モデル化(数学)と複数資料の読み取り(国語)で考察する授業を行った。
リフレッシュ	総探×国語×体育	『自分に合ったリフレッシュ方法を身につける』というテーマで、身体を動かしたりして自分のストレスの感じ方を言語化していく授業を体育館
金属の歴史	化学×世界史	金属の単体から歴史的な事象
宇宙エレベーター	英語×物理	宇宙エレベーターである必要性を、物理教員が解説した。

地理×JICA 国際理解教育
「パレスチナ問題」

総探×教科・教科×教科の
実践実績表(令和3年度)

夢探究(総合的な探究の時間)では、令和2年度・3年度と、2学期前半に、コラボレーション授業として、1つの地域×2つの教科において、テーマを設けて探究的な学びを体感できる授業を実施した。また、3月には、コラボレーションDAYとして、生徒からも希望テーマを集めて、終日コラボレーション授業を展開する1日を設けた。各教科でも、教科と地域内外のリソースをつなげたテーマでの授業や複数教科同士のコラボレーションも起こるようになっていった。また、それらの実践を伴走者フォーラムで島内外の教員と学び合う機会を設けることで、より深く、拡がる仕掛けをしていった。

9

研究開発計画3 「地域課題解決型学習と各教科で取り組む「地域未来探究」の実施」



コラボレーションDAY
「金融(数学×家庭科×社会)」



2022年7月広島大学にて、
実践発表会を実施



1年夢探究で、文系・理系・
分離融合型のゼミ形式授業



学校設定科目でも、複数教科の
教員が共創的に授業設計

事業開始当初は、夢探究(総合的な探究の時間)の中に枠を設定し、コーディネーターによる丁寧な伴走を必要としていたが、各教科や学校設定科目の中にも、教員同士が主体的に授業設計を行い、日常的にコラボレーション(「地域未来探究」)が起こるようになっていった。

10

研究開発計画4 「「伴走者フォーラム」の実施」

【研究計画内容】

他校や他地域への普及を目的に「伴走者」向けのプログラムを実施する。ただし、あくまでも「事業成果（成功事例）の普及」ではなく、伴走者であり続けるための「問いの普及」を目指し、「地域・社会に開かれた教育課程」を構築するために教職員がどのようにあるべきなのか、生徒たちの探究活動にどのように伴走すべきなのかなどを、大人たちがともに探究できる場を構築する。



2020年度 伴走者フォーラム
「新しい時代の「寄り添い」とは？」



2021年度 伴走者フォーラム
「未来の授業 教科共創探究」



2022年度 伴走者フォーラム
「先生のマイプロとは？」



地域内外の教育関係者に開いた伴走者フォーラムを毎年実施し、延べ200名を超える参加者と共に伴走者であり続けるために、学び合う機会をつくった。また、そこでの出会いをきっかけに、他校の教員と自主勉強会を開く教員も出てきている。

【参考】

2020年度HP記事 <https://www.dozen.ed.jp/local/4244/>

2021年度HP記事 <https://www.dozen.ed.jp/teachers/5397/>

2022年度HP記事 <https://www.dozen.ed.jp/teachers/5980/>

11

補足

「本事業推進によって起こってきた生徒と大人の協働・共創」



探究学習の振り返りを教員と授業設計し当日も生徒が進行



生徒会主催、生徒・教員参加の学校の問題を話す座談会



学校行事「失敗の日」のワークショップを教員と共創



教科横断ゼミから発展し地元企業と連携した電力事業開始

本事業では、研究開発テーマを、「学校と地域との協働」という観点で深めてきた。カリキュラムやさまざまな活動において、地域内外と協働する場面が増えてきた中で、「生徒」と教員・地域内外の大人が協働・共創する場面が多く出てきている。

12

研究開発推進 学校内外の体制構築における成果と課題

【体制】

校内の推進体制としては、学校経営会議や運営委員会、職員会議等を中心に本事業を推進している。また、4名のコーディネーターと本事業におけるカリキュラム開発等専門家がそれに伴走しながら、コンソーシアムおよび運営指導委員会を設けることで、校外とも連携しながら推進している。

会議の様子



学校経営会議



運営指導委員会

【学校経営会議】月に1度の学校経営会議では、本校管理職に加え、学校経営補佐官2名（地域内在住・地域外在住）とコーディネーター1名で、本事業における研究開発も含めて、学校経営目標のPDCAを協議している。

【推進協議会（コンソーシアム会議）】本校教職員・コーディネーターに加え、地域の方々が参加している推進協議会は、毎年4～5回程度開催し、地域目線での助言・アドバイスだけでなく、活動サポートなどを行なっていただいている。



推進協議会（コンソーシアム会議）



運営「共創」委員会

【運営指導（共創）委員会】本事業における運営指導委員会は、単に助言・アドバイスをする・もらう関係ではなく、「共に創る」関係性を目指し、運営共創委員会と位置付けている。2022年7月に開催した運営共創委員会では、出前授業やフィールドワーク、カリキュラムを共に考える機会として、現場の教職員やコーディネーターと協議をした。

課題

本事業を3年間推進していく中で、学校経営会議で本事業の研究開発を経営目標の中に位置付け、推進協議会で地域との協働を進め、さらには運営共創委員会で、外部の専門家たちの知見を現場に活かしていく流れができています。一方で、これらの動きを研究開発推進チームだけではなく、校内教員へ即時的・効果的に情報共有する仕組みづくりが課題となっています。

13

研究開発推進 学校と地域との協働を推進するコーディネーターの活動における成果と課題

【コーディネーター】

本校では、本事業の研究開発の推進も含め、4名のコーディネーターが学校魅力化の推進をしている。

コーディネーターの活動の様子



学校と地域をつなぐ
授業のコーディネーター



地域や学校と卒業生をつなぐ
卒業生会のコーディネーター



学校経営目標の推進のための
学校行事のコーディネーター



グローバル探究含む
グローバルとの接続



教職員の学びを深める
教職員研修・勉強会の開催



本事業の研究開発を普通科改革
の新学科カリキュラムへ波及

コーディネーターは、生徒×生徒、生徒×教員、生徒×地域、教員×教員、教員×地域、島前地域×他地域、島前地域×海外など、さまざまな既存のコンテンツを組み合わせ、学校経営目標を踏まえながら、本事業を自らも推進し、さらには、推進できる体制や環境づくりにも貢献している。特に、異動や入れ替わりの多い本校においては、地域の人材や地域の動きを熟知するコーディネーターの存在は、今後も大きいと言える。

課題

本校では、10年以上コーディネーターという存在と共に、地域との協働を進めてきた。現在では、学校経営補佐官として、学校経営にも携わるようになり、「人が変わっても進化し続ける学校経営」を掲げ、学校経営会議を実施している。しかし、他校他地域では、学校とコーディネーターのパートナーシップ構築について、苦しみ事例もきく。今後は、他校他地域にも本校の知見を活かし、貢献していきたい。

14

研究開発成果
本事業における目標設定と結果

「本構想において実現する成果目標（アウトカム）」

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値
項目	卒業後のグローバルな進路選択者（スーパーグローバルユニバーシティや地域協働系学部への進学割合）					
目標設定の考え方	グローバルなビジョンを描き、グローバルな進路を選択する生徒比率					
対象生徒（計画値）	-	-	12	13	15	15
対象生徒以外（計画値）	-	-	-	-	-	-
対象生徒（実績値）	-	-	12.5	12.0	未定	未定
対象生徒以外（実績値）	-	-	-	-	-	-

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値
項目	卒業後も隠岐島前地域に積極的に関わろうとする生徒数（関係人口数）					
目標設定の考え方	隠岐島前地域や日本全国で開催される隠岐島前地域との協働に係るワークショップへの参加卒業生数					
対象生徒（計画値）	-	-	5	10	15	15
対象生徒以外（計画値）	-	40	50	70	85	100
対象生徒（実績値）	-	-	10	3	35	35
対象生徒以外（実績値）	-	40	11	51	105	105

15

研究開発成果
本事業における目標設定と結果

「地域人材を育成する高校としての活動指標（アウトプット）①」

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値
項目	主体性、協働性、探究性、社会性における「自己認識」で肯定的な意見が70%以上					
目標設定の考え方	「高校魅力化評価システム」における事業開始時点の数値から数値目標を設定					
対象生徒（計画値）	69	69	70	72	75	75
対象生徒（実績値）	61	69	68.7	72	73.6	73.6

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値
項目	主体性、協働性、探究性、社会性における「行動実績」で肯定的な意見が80%以上					
目標設定の考え方	「高校魅力化評価システム」における事業開始時点の数値から数値目標を設定					
対象生徒（計画値）	71	76	78	80	83	83
対象生徒（実績値）	71.6	76.7	72	74.8	76.9	76.9

16

研究開発成果
本事業における目標設定と結果

「地域人材を育成する高校としての活動指標（アウトプット）②」

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値
項目	安心・安全の土壌、多様性の土壌、対話の土壌、開かれた土壌における生徒の肯定的な意見が90%以上					
目標設定の考え方	「高校魅力化評価システム」における事業開始時点の数値から数値目標を設定					
対象生徒（計画値）	81	85	86	88	90	90
対象生徒（実績値）	81.5	84.5	79.2	85.8	91.1	91.1

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値
項目	伴走者フォーラムへの参加者数					
目標設定の考え方	全国に取組を広げる際に、率先垂範で地域や生徒の探究学習に伴走できる人の数					
参加者数（計画値）	-	-	10	15	100	100
参加者数（実績値）	-	-	70	50	100	100

17

研究開発成果
本事業における目標設定と結果

「地域人材を育成する地域としての活動指標（アウトプット）」

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値
項目	安心・安全の土壌、多様性の土壌、対話の土壌、開かれた土壌における大人の肯定的な意見が85%以上					
目標設定の考え方	「高校魅力化評価システム」における事業開始時点の数値から数値目標を設定					
対象生徒（計画値）	-	78	80	82	85	85
対象生徒（実績値）	-	77.6	73.1	83.4	未実施	未定

18

今後の方針 研究開発の継続と集大成としての新学科（地域共創科）へ

【新学科（地域共創科）】

本校では、普通科改革として、新学科（地域共創科）設置へと挑戦する。それまでの普通科は残しながら、新たに地域共創科を設置し、2年生進級時に、学科選択によってわかれていく。本事業の研究開発を、学科という形で活かし、さらなるグローバル人材の育成を進めていく。

新学科（地域共創科パンフレット）



【参考】

新学科（地域共創科）特設ページ <https://www.dozen.ed.jp/local/5383/>